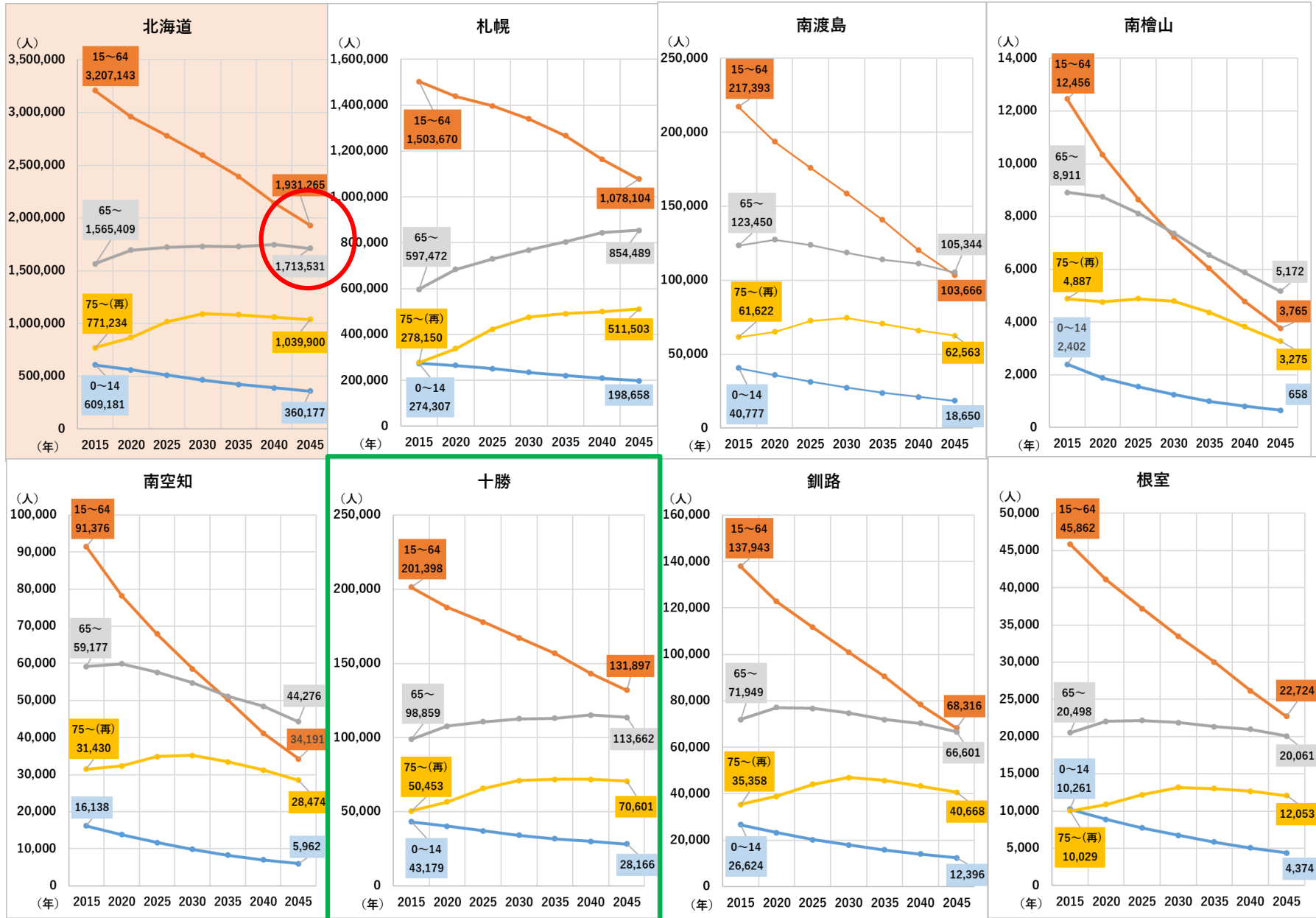


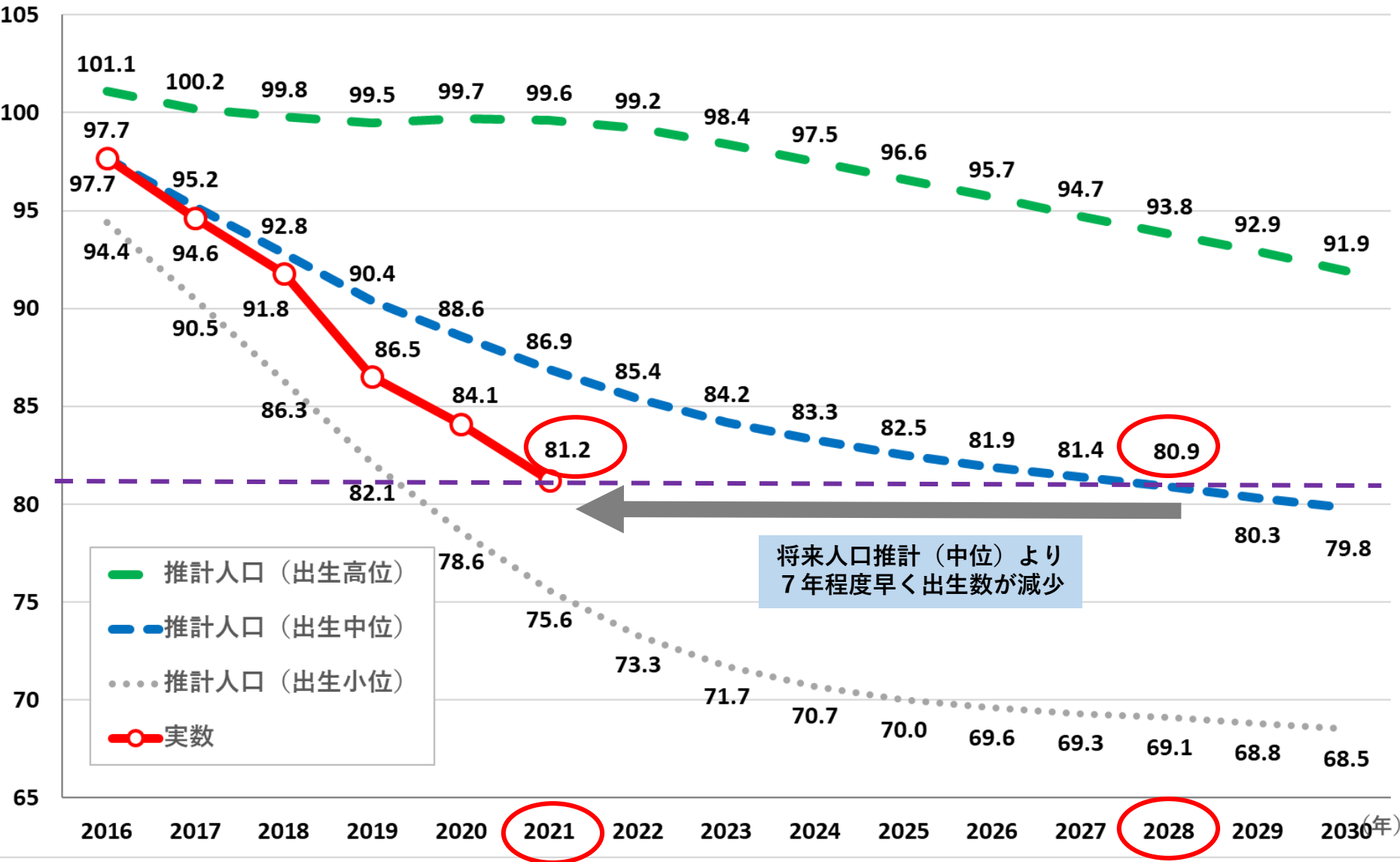
人口の推移・推計（人口区分別）



出生数の動向（推計と実績）

(万人)

(20220922第7回全世代型社会保障構築会議資料)

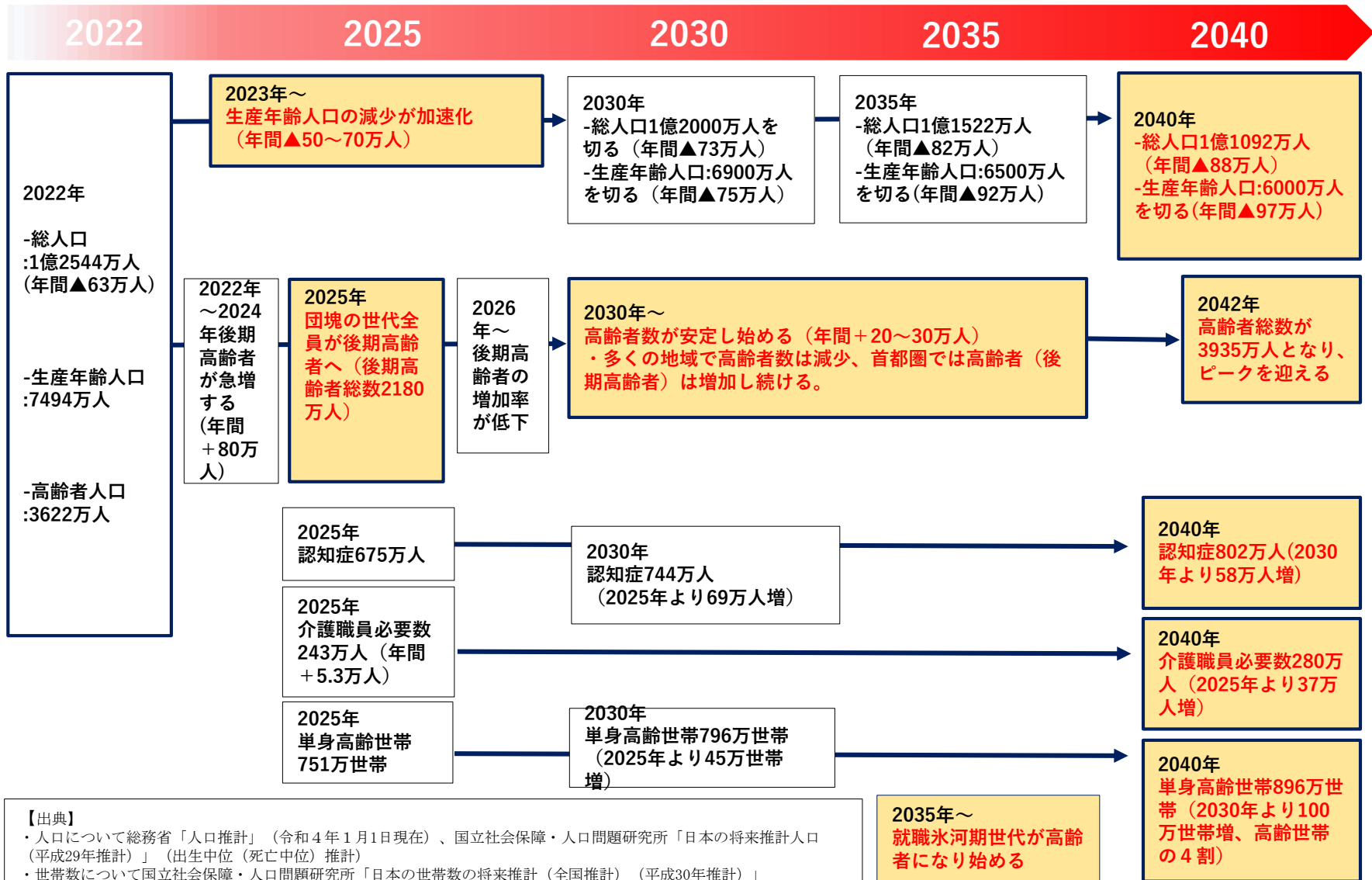


将来人口推計（中位）より
7年程度早く出生数が減少

出典：国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口（2017年推計）」、厚生労働省「人口動態統計」。

(注) 2021年の実績は概数。推計人口は死亡中位。

2040年までの人口に関する見通し



【出典】

- ・人口について総務省「人口推計」（令和4年1月1日現在）、国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口（平成29年推計）」（出生中位（死亡中位）推計）
- ・世帯数について国立社会保障・人口問題研究所「日本の世帯数の将来推計（全国推計）（平成30年推計）」
- ・認知症について厚生労働科学研究費補助金厚生労働科学特別研究事業「日本における認知症の高齢者人口の将来推計に関する研究」（研究代表者p二宮利治（平成27年3月））。各年齢の認知症有病率が一定の場合の将来推計。
- ・介護職員数の必要数についてp市町村により第8期介護保険事業計画に位置づけられたサービス見込み量（総合事業を含む）等に基づく都道府県による推計値を集計したもの。

いわゆる団塊の世代が全て75歳以上となる令和7年（2025年に向けて、医療機能の分化・連携や地域包括ケアシステムの構築が進められてきたが、一方で、今般の新型コロナウイルス感染症対応において、地域における医療・介護の提供に係る様々な課題が浮き彫りとなった。

今後、医療・介護の複合的ニーズを有する85歳以上人口が急増し、また、高齢者の単独世帯も増加していく中で、例えば単身で暮らす複数の基礎疾患を持つ要介護の高齢者への急性期や感染症の対応など、新型コロナウイルス感染症対応は、このまま対策を講じなければいずれ直面するであろう医療・介護提供体制の課題を、現実に体験したものと捉えることもできる。他方、こうした危機の中であって、医療・介護の現場あるいは現場と行政の間等で、密接な意思疎通が求められ、新たな形を含め様々な役割分担・連携・協力の取組が模索され、地域で実現したことも確かであり、今後の医療・介護提供体制の改革にこうした経験を活かしていくことが期待される。

今後、全国的には令和22年（2040年頃に、高齢者人口がピークを迎える中で、医療・介護の複合的ニーズを有する高齢者数が高止まりする一方、生産年齢人口の急減に直面するという局面を迎えることとなる。さらに医療・介護提供体制の改革を進めていくに当たっては、こうした局面を視野に入れて、実現が期待される医療・介護提供体制の姿を関係者が共有した上で、そこから振り返って現在すべきことを考える形（バックキャストで具体的に改革を進めていくことが求められる。その際、医療・介護の提供体制を論ずべき地域単位でみれば、こうした変化のスピードや度合いは様々であり、地域ごとの人口構造やこれに伴う医療・介護需要の変化を見据えながら、地域ごとに適切に対応できるような形で改革を進めていく必要がある。また、既に減少に転じている生産年齢人口が令和7年（2025年以降さらに減少が加速化することも踏まえ、必要なサービスを創出していく取組を続ける一方で、限りある人材等で増大する医療・介護ニーズを支えていくため、医療・介護提供体制の最適化や効率化を図っていくという視点も重要である。

「ポスト2025年の医療・介護提供体制の姿」は、高齢者人口がピークを迎える中で、医療・介護の複合的ニーズを有する高齢者数が高止まりする一方、生産年齢人口の急減に直面するという局面において実現が期待される医療・介護提供体制の姿として現時点で想起し得るものを、患者・利用者など国民の目線で描いたものである。

1 ポスト2025年に対応した医療・介護提供体制の姿

- ・医療・介護提供体制の改革を進めていくに当たっては、実現が期待される医療・介護提供体制の姿を関係者が共有した上でそこから振り返って現在すべきことを考える形（バックキャストで具体的に改革を進めていくことが求められる）。
- ・その際、限りある人材等で増大する医療・介護ニーズを支えていくため、医療・介護提供体制の最適化・効率化図っていくという視点も重要。
- ・高齢者人口がピークを迎える中で、医療・介護の複合的ニーズを有する高齢者数が高止まりする一方、生産年齢人口の急減に直面する局面において、実現が期待される医療・介護提供の姿として現時点で想起し得るものを、患者・利用者など国民の目線で描いたもの。

2 ポスト2025年の医療・介護提供体制の姿の3つの柱

- ポスト2025年の医療・介護提供体制の姿は、以下の3つの柱を同時に実現**することを通じて、患者・利用者など国民が必要な情報に基づいて適切な選択を行い、安心感が確保されるものでなければならない。
- I 医療・介護を提供する主体の連携により、必要なときに「治し、支える」医療や個別ニーズに寄り添った柔軟かつ多様な介護が地域で完結して受けられること
 - II 地域に健康・医療・介護等に関して必要なときに相談できる専門職やその連携が確保され、さらにそれを自ら選ぶことができること
 - III 健康・医療・介護情報に関する安全・安心の情報基盤が整備されることにより、自らの情報を基に、適切な医療・介護を効果的・効率的に受けることができること

2025年以降における「地域医療構想」について

- 地域医療構想については、これまでもPDCAサイクルや都道府県の責務の明確化による取組の推進を行ってきており、現在の2025年までの取組を着実に進めるために、PDCAも含め責務の明確化による取組の強化を図っていく。
- さらに、2025年以降についても、今後、高齢者人口がピークを迎えて減少に転ずる2040年頃を視野に入れつつ、新型コロナ禍で顕在化した課題を含め、中長期的課題について整理し、新たな地域医療構想を策定する必要がある。そのため、現在の取組を進めつつ、新たな地域医療構想の策定に向けた課題整理・検討を行っていく。

(検討のスケジュールのイメージ)

	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度
新しい地域医療構想の検討・取組		国における検討・制度的対応		都道府県における策定作業	新たな構想に基づく取組
現行の地域医療構想の取組	構想に基づく取組				

全世代型社会保障構築会議議論の中間整理（令和4年5月17日）

6. 医療・介護・福祉サービス

- 今後の更なる高齢化の進展とサービス提供人材の不足等を踏まえると、医療・介護提供体制の改革や社会保障制度基盤の強化の取組は必須である。まずは、「地域完結型」の医療・介護提供体制の構築に向け、地域医療構想の推進、地域医療連携推進法人の活用、地域包括ケアシステムの整備などを、都道府県のガバナンス強化など関連する医療保険制度等の改革と併せて、これまでの骨太の方針や改革工程表に沿って着実に進めていくべきである。

加えて、今回のコロナ禍により、かかりつけ医機能などの地域医療の機能が十分作動せず総合病院に大きな負荷がかかるなどの課題に直面した。かかりつけ医機能が発揮される制度整備を含め、機能分化と連携を一層重視した医療・介護提供体制等の国民目線での改革を進めるべきである。

2025年までの取組となっている地域医療構想については、第8次医療計画（2024年～）の策定とあわせて、病院のみならずかかりつけ医機能や在宅医療等を対象に取り込み、しっかり議論を進めた上で、さらに生産年齢人口の減少が加速していく2040年に向けたバージョンアップを行う必要がある。

参考資料

【病院】 医師平均年齢の推移
(二次医療圏別)

医師平均年齢の推移（病院）

（単位：歳）

	H 8	H 1 0	H 1 2	H 1 4	H 1 6	H 1 8	H 2 0	H 2 2	H 2 4	H 2 6	H 2 8
全国	40.70	40.99	41.41	41.71	42.06	42.45	42.87	43.29	43.73	44.16	44.52
南渡島	43.14	43.65	44.20	43.80	44.15	45.16	45.81	46.39	47.18	47.56	47.77
南檜山	38.94	40.83	41.21	42.04	44.89	41.11	43.74	43.00	45.85	46.91	47.89
北渡島檜山	42.13	44.18	42.85	44.35	44.90	46.82	49.74	47.25	48.72	51.66	50.16
札幌	42.73	43.03	43.76	44.00	44.39	44.85	45.26	45.74	46.37	46.84	47.41
後志	45.37	45.92	46.09	46.64	47.98	48.71	50.03	52.21	51.70	52.24	51.86
南空知	43.72	45.40	45.95	47.13	48.47	48.03	49.08	50.15	51.62	52.20	52.89
中空知	43.53	45.73	45.29	45.27	45.33	45.56	45.49	46.05	46.71	46.42	46.69
北空知	44.73	48.37	46.55	47.76	49.87	48.86	51.03	53.34	55.94	57.04	58.64
西胆振	41.94	40.41	43.26	44.61	44.29	45.13	46.76	47.59	46.66	47.45	47.79
東胆振	43.51	43.86	43.68	44.17	45.28	45.20	45.64	45.96	46.56	45.90	45.83
日高	44.05	43.82	45.68	47.78	48.56	50.72	51.64	53.29	54.26	55.17	55.80
上川中部	39.87	40.51	41.09	41.69	42.27	42.72	43.50	44.26	45.29	45.75	45.60
上川北部	37.54	39.74	40.51	41.52	41.48	41.99	42.87	44.49	46.01	46.12	44.92
富良野	37.63	40.23	41.93	42.64	44.21	47.63	48.45	48.12	47.00	49.71	48.88
留萌	41.35	39.79	38.79	39.54	42.57	40.84	42.63	45.32	46.93	46.68	45.43
宗谷	37.80	37.40	38.64	38.60	40.54	42.40	43.17	42.25	42.60	42.59	45.43
北網	39.45	41.02	40.78	42.00	42.60	42.05	43.24	45.08	46.09	47.05	46.60
遠紋	42.03	41.08	41.27	43.00	42.79	42.87	44.63	46.20	45.98	48.54	50.81
十勝	41.03	41.23	42.57	42.83	43.07	43.43	43.62	44.81	44.92	45.87	45.33
釧路	39.37	40.04	40.99	42.30	41.81	41.84	43.29	44.70	45.14	45.37	47.27
根室	40.73	42.52	44.23	44.22	44.46	45.66	49.00	48.74	50.92	52.29	55.97